

(意見書案第 27 号)

尺別川及び直別川の河道整備等に関する意見書

令和 7 年 9 月 21 日に釧路地方と十勝地方で、北海道では初めてとなる線状降水帯が発生し、特に音別町では 1 時間 75 ミリという非常に激しい雨が観測された。この大雨の影響で、各所において道路の冠水や路肩決壊のほか住宅の床上・床下浸水、さらには河川の氾濫による農地への土砂や流木の流入が相次いだ。

音別地区の農家では、溢れ出た河水が草地に流れ出て泥や流木が堆積。撤去のための補助事業は自己負担が高額となることから利用につながらなかったところである。また、沢から流れ出た土砂により、設置した鹿柵が倒壊。圃場のほか、山間部では延べ 7 キロメートルほどの被害が確認されたところであり、来年以降の鹿による食害が懸念されることから、復旧が早期に進むよう対応願いたい。

また、これらの異常気象は今後も発生が予想されることから、北海道においては、被害を最小限に食い止めるべく、管理河川の河道整備や治山対策を講じるよう要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 7 年 12 月 16 日

釧路市議会

北海道知事 宛